

バイオプラスチック導入目標集(2022年度版)

① バイオプラスチック（製品）製造・販売目標

業種		企業名	対象製品・用途	導入する素材	目標水準	目標時期	参考URL
製造業	飲料	アサヒ飲料株式会社	PETボトル	環境配慮素材(リサイクル素材・バイオマス素材など)	100%環境配慮素材に切り替える	2030年	アサヒ飲料「容器包装2030」, https://www.asahiinryo.co.jp/csv/eco/package2030/
		九星飲料工業株式会社 (販売子会社:株式会社スターライン)	清涼飲料製品	植物由来の環境に配慮した素材(バイオマスプラスチックを含む)、リサイクル素材等	導入に向けた検討及び調査を進めていく	—	九星飲料工業HP, https://www.kyusei.co.jp/
		キリンホールディングス株式会社	飲料用容器包装	バイオPET、バイオPE等	持続可能な容器包装(バイオマスやリサイクル材等)100% ※「バイオマス」にはバイオマスプラスチックを含む	2050年	キリングループ「環境ビジョン2050」, https://www.kirinholdings.co.jp/news/2020/0210_01.html キリングループ「環境報告書2022」(P.10・46), https://www.kirinholdings.com/jp/investors/files/pdf/environmental2022.pdf
			PETボトル	バイオPET(非可食原料の利用)	導入の検討を進めていく	—	キリングループ「プラスチックポリシー」, https://www.kirinholdings.co.jp/news/2019/0207_01.html
		サントリーホールディングス株式会社	グローバルで使用するすべてのペットボトル	リサイクル素材あるいは植物由来素材(バイオマスプラスチック等)	100%	2030年	サントリーグループ「プラスチック基本方針」, https://www.suntory.co.jp/company/csr/activity/environment/reduce/plastic/
	飲料・食品	アサヒグループホールディングス株式会社	PETボトル	環境配慮素材(リサイクル素材・バイオマス素材など)	100%環境配慮素材に切り替える 対象会社:アサヒ飲料(株)、アサヒヨーロッパアンドインターナショナル、アサヒホールディングスオーストラリア、アサヒホールディングスサウスイーストアジア	2030年	アサヒグループホールディングス「アサヒグループサステナビリティデータブック」, https://www.asahigroup-holdings.com/sustainability/pdf/databook/databook_jp.pdf
		サッポロホールディングス株式会社	容器包装	循環型社会に対応した容器包装(従来からリサイクル、リユースできる容器包装として継続的に使用している缶・びん・樽などに加えて、再生プラスチック、バイオマス素材、環境認証資材(FSC®認証紙等)など)	100%	2050年	サッポログループ「サッポログループ容器包装ビジョン」, https://www.sapporoholdings.jp/sustainability/environment/recycling/packaging/
	食品	カゴメ株式会社	紙容器飲料のストロー	資源循環可能な素材(バイオマスプラスチック等の植物由来素材や紙素材)	100%	2030年	カゴメ「カゴメプラスチック方針」, https://www.kagome.co.jp/library/company/csr/environment/pdf/kagome_plastic_guideline.pdf

業種		企業名	対象製品・用途	導入する素材	目標水準	目標時期	参考URL	
製造業	食品	株式会社おやつカンパニー	プラスチック製容器包装	バイオマスプラスチック	可能な範囲で、バイオマスプラスチックの使用を図るとともに、プラスチックの減量化を推進する	—	おやつカンパニーHP, https://www.oyatsu.co.jp/	
		株式会社 明治	「ザバス」シリーズのプラスチックカップ、「明治おいしい牛乳」のキャップなどに使用しているプラスチックなど	バイオPE、バイオPET、リサイクル原料または植物由来原料等の環境配慮型素材	バイオマスプラスチックの使用量1,500トン以上	2025年	明治プレスリリース「海洋汚染などの社会的問題の解決に向け プラスチック資源循環の取り組みをさらに強化 ～プラスチック使用量の削減と環境配慮型素材の使用拡大について～」（2022年3月31日）， https://www.meiji.co.jp/corporate/pressrelease/2022/0331_01/index.html	
					バイオマスプラスチックの使用量3,000トン以上	2030年		
				「明治プロビオヨーグルトR-1ドリンクタイプ」などのペットボトル容器	再生プラスチック、バイオマスプラスチック	70%以上		2025年
						100%		2030年
		カルビー株式会社	菓子・シリアル製品包装材	リサイクル原料または植物由来原料などを今後の技術開発動向を注視しながら採用を検討（バイオPETについては一部製品に採用開始済）	化石資源から新たに作られるプラスチックを使用した包装容器を50%削減（2018年比）	2030年	カルビー ニュースリリース「プラスチック資源循環の推進目標の設定」（2020年9月10日）， https://www.calbee.co.jp/newsrelease/200910.php カルビー ニュースリリース「一部商品における環境配慮型包材への切り替え」（2021年2月8日）， https://www.calbee.co.jp/newsrelease/210208b.php	
		日清オイリオグループ株式会社	日清キャノーラ油などの1,000g ポリボトル	バイオPE	容器の一部にバイオPEを導入	2022年度	日清オイリオグループ ニュースリリース「プラスチック問題の解決に向けた取り組みを強化」（2022年8月24日）， https://www.nisshin-oillio.com/company/news/down2.php?attach_id=1460&uid=8019	
		日清食品ホールディングス株式会社	カップヌードル容器等全ての容器包装	バイオマスプラスチック、紙	全ての製品に環境配慮型の容器包装を使用する（日清食品グループ、国内外） 売上高当たりの容器包装に係る化石資源由来プラスチック総量を2018年度比20%以上削減する（日清食品、国内）	2030年	日清食品グループ「製造工場での環境負荷低減」， https://www.nissin.com/jp/sustainability/environment/business/manufacturing/	
		マルハニチロ株式会社	自社製品の容器包装	バイオマス、リサイクル素材等環境配慮素材	プラスチック使用量削減率30%以上（バイオマス、リサイクル素材等への切替含む）	2030年	マルハニチログループ中期経営計画「海といのちの未来をつくる MNV 2024」p38マテリアリティ②， https://www.maruhanihiro.co.jp/corporate/news_center/news_topics/inochi_to_mirai_wo_tsukuru_MNV2024_1.pdf	
		株式会社ヤクルト 本社	プラスチック製容器包装	資源循環しやすい素材（バイオマスプラスチックを含むバイオマス素材、リサイクル素材等）	転換に着手	2025年	ヤクルトグループ「プラスチック資源循環アクション宣言」， https://www.yakult.co.jp/company/sustainability/environment/plastic/	
					最大限の転換	2030年		

業種	企業名	対象製品・用途	導入する素材	目標水準	目標時期	参考URL	
製造業	食品	雪印メグミルク株式会社	商品に貼付しているストロー	バイオマスプラスチック	2022年度	雪印メグミルクHP, https://www.meg-snow.com	
			プラスチック製容器包装		商品ごとに配合率含め検討中		2030年度
					石油由来のプラスチック使用量を2030年度までに2018年度比25%削減(商品ごとに配合率含め検討中)		
	トイレタリー	花王株式会社	包装容器	バイオマスプラスチック、再生プラスチック	使用拡大を推進	2030年	花王「花王サステナビリティ データブック2022」, https://www.kao.com/content/dam/sites/kao/www-kao-com/jp/ja/corporate/sustainability/pdf/sustainability2022-all.pdf
		ライオン株式会社	プラスチック製品・容器包装全般	バイオPE、バイオPET、植物由来原料等	再生プラスチック及びバイオマス材料の使用を拡大し、石化由来のプラスチック使用率を70%以下に削減	2030年	ライオングループ「プラスチック環境宣言」, https://www.lion.co.jp/ja/company/governance/policies/plastics-environment.php ライオン「バイオマスプラスチックの主な活用事例」, https://www.lion.co.jp/ja/sustainability/env/resources/activity01.php
	化粧品	株式会社コーセー	「雪肌精」、「DECORTE」シリーズなど(化粧水ボトル、クリームジャー容器、チューブ容器、パウチ容器など)	バイオPE、バイオPET、ケミカルリサイクルPETなど	・4R(Reduce/Reuse/Recycle/Renewable)に適合した容器設計を行う(=4Rのいずれか一つを新製品に採用する)。目標は100% ・2030年までにバイオマス/リサイクル樹脂の採用比率(樹脂量)を50%まで高める	2030年	コーセー「コーセーサステナビリティプラン」, https://www.kose.co.jp/company/ja/content/uploads/2021/04/20210430.pdf
		株式会社資生堂	プラスチック製容器包装	サステナブルな容器包装(バイオプラスチック等の植物由来素材、再生素材等)	導入推進を検討 ※容器包装に関し独自のポリシーの5Rsを定め、Replaceとしてパージン・プラスチック素材の一部を転換していく	2025年	資生堂「サステナビリティレポート2021」, https://corp.shiseido.com/sustainabilityreport/jp/2021/
	日用品	ユニ・チャーム株式会社	プラスチック製包装容器・包装材料	環境配慮型素材(バイオプラスチック等、植物由来等の再生可能な有機性資源を活用)	50%	2030年	ユニ・チャームグループ「環境目標2030」, https://www.unicharm.co.jp/ja/company/news/2020/1214067_13534.html ユニ・チャームグループ中長期ESG目標「Kyo-sei Life Vision 2030」, http://www.unicharm.co.jp/csr-eco/kyoseilifevision/index.html
医薬品		大塚ホールディングス株式会社	消費者商品の全製品 ※大塚グループが使用している消費者向け製品のプラスチック製容器包装等のほとんどを飲料用PETボトルが占めている	植物由来原料(バイオマスプラスチック等)及びリサイクル原料	使用推進	2030年	大塚グループ「プラスチックステートメント」, https://www.otsuka.com/jp/csr/environment/plastic.html
	PETボトル(グローバル)			100%(バイオマスプラスチック+リサイクル原料)			

業種	企業名	対象製品・用途	導入する素材	目標水準	目標時期	参考URL
製造業	医薬品	参天製薬株式会社	医療用医薬品・点眼容器	バイオマスプラスチック	点眼容器プラスチック材料に対して、60%のバイオマスプラスチックを使用	2030年 参天製薬「2050年に向けた環境ビジョン」, https://www.santen.com/ja/sustainability/climate#sec03
	プラスチック製品	大紀商事株式会社	食品容器包装	バイオプラスチックを含む持続可能な調達に配慮したプラスチック	顧客の需要に応えられる供給(原料調達および生産)体制を構築する	大紀商事株式会社HP, https://www.ohki-okilon.co.jp/
		大塚包装工業株式会社	PPトレイ、HIPSトレイ	バイオPEを配合	販売拡大(一部企業で採用実績あり)	大塚包装工業「バイオマストレイ」, https://www.otsuka-houso.co.jp/development/plastic.htm
		株式会社ダイカン	看板製造におけるプレートや切文字	バイオマス素材 or 植物由来素材	導入(素材及び配合率等は今後検討)	ダイカンHP, https://www.daikan.ne.jp/
		川上産業株式会社	気泡緩衝材「バイオプチ」	バイオPE	バイオマス原料配合率30%以上(現状15%)	2030年 川上産業株式会社「バイオプチ」, https://www.putiputi.co.jp/products/847
		紀伊産業株式会社	化粧品容器	バイオPET、バイオPE、バイオPP、リサイクルPET、リサイクルABS、リサイクルPPなど	顧客となるブランドオーナー企業に対して、環境配慮素材の使用を積極的に提案する	— 紀伊産業HP, https://www.keytrading.co.jp/
		興人フィルム&ケミカルズ株式会社	ポリオレフィンシュリンクフィルム「コージンバイオポリセット」(バイオマスプラスチック25%配合)、ラップシュリンクフィルム「バイオコーラップCS」(バイオマスプラスチック10%配合) ※食品容器包装用途	バイオPE	販売促進	2030年 興人フィルム&ケミカルズHP, https://www.kohjin.co.jp/
		シーピー化成株式会社	「CP Bio」シリーズ(バイオマスプラスチックを含有したプラスチック食品容器)	バイオPE、バイオA-PET	500アイテム以上まで拡大	2023年 シーピー化成HP, https://www.cpkasei.co.jp/
		ジェイフィルム株式会社	歯ブラシブリスター、クリアケース、卓上カレンダーのケース	バイオPET	バイオマスプラスチック製品販売量 2020年度比3倍	2025年度 ジェイフィルムHP, https://www.jfilm.co.jp/
			ダイレクトメール、家庭紙(ソフトティッシュ外装、トイレトペーパー外装)	バイオPE、植物由来原料		
		住化積水フィルム株式会社	農業用マルチングフィルム「野土加®」 ※農業用マルチングフィルムは作物の品質や生産収量を高めるために必須のポリフィルムで数多く利用されている。通常は使用後は回収を必要とするが、「野土加®」は生分解性があるため、使用後畑に蒔き込むことによって土中で分解され撤去作業の省力化につながる環境負荷の小さい製品である	生分解性プラスチック	農業用マルチングフィルム販売量のうち1,000トン/年を「野土加®」に置き換える	2030年 住化積水フィルムHP「野土加®」, https://www.ss-film.co.jp/products/agriculture/nou_poly-multi/nodoka/
		東名化学工業株式会社	持ち帰り飲料容器(クリアカップ)、総菜容器、アイスクリーム容器、チルド飲料容器	環境対応素材(バイオPE、バイオPET、リサイクルPET等)	環境対応品として年間300アイテムを販売	2023年8月 東名化学工業HP, http://www.tomei-c.co.jp/
		日生化学株式会社	ショッピング用バッグ、冠婚葬祭用発泡PEバッグ、軟包装ラミネート用シーラントフィルム	バイオPE等	販売量拡大	2023年以降 日生化学HP, http://www.nissei-grp.com/

業種	企業名	対象製品・用途	導入する素材	目標水準	目標時期	参考URL	
製造業	プラスチック製品	日本技研工業株式会社	買物袋(レジ袋)	リサイクル原料または植物由来原料	配合率30%	2023年1月	日本技研工業HP, http://www.nippon-giken.co.jp/
		丸真化学工業株式会社	包装用資材	バイオPE、リサイクルPET	合計30%	2030年	丸真化学工業HP, https://www.marushinkagaku.co.jp/
		ユニチカ株式会社	繊維(用途: ティーバッグ、浴用タオルなど)、不織布(用途: 土木用資材など)、成形用樹脂(用途: ストロー、カトラリーなど)、その他	バイオマスプラスチック(PLA等)	生産量倍増	2030年	ユニチカグループ「テラマック」 https://www.unitika.co.jp/terramac/
							ユニチカグループ「ユニチカ魔法学院」 https://www.unitika.co.jp/mahougakuin/
							一般社団法人日本経済団体連合会「SDGsに資するプラスチック関連取組事例集」, https://www.keidanren.or.jp/policy/2018/09_9_jirei.pdf
	吉田コスメワークス株式会社	化粧品包装材料全般	サステナブル関連素材(バイオPE、バイオPET、リサイクル原料、非石油系樹脂、その他石油由来成分の少ない添加剤入り樹脂等)	汎用型製品:サステナブル関連素材での提供率100%	2030年	吉田コスメワークス「サステナビリティ」, https://www.yoshidacw.co.jp/sustainability/	
	金属製品	リスパック株式会社	ワンウェイ食品容器	植物由来原料(バイオマスプラスチック等)またはリサイクル原料	売上構成比50%	2023年度	リスパックHP「リスグループの環境への取組み」, https://www.risu.co.jp/sustainability/environment/renewable/
		東洋製罐株式会社	PETボトル	環境配慮PET(バイオマスプラスチック、リサイクル材)	利用率を30%向上(2013年度比) ※大半はリサイクル材を導入予定 ※ブリフォーム・ボトルにおいてバイオマスプラスチックの使用実績有(2022年現在)	2030年	東洋製罐グループホールディングス「東洋製罐グループ環境方針・中長期環境目標」, https://www.tskg-hd.com/csr/environment/global/global01/
		東洋製罐グループホールディングス株式会社	包装容器(PETボトル、プラスチックボトル、カップ、パウチ)など	バイオマスプラスチック・再生材	プラスチック製品の化石資源の使用量を40%削減(2013年度比) ・プラスチック製品の軽量化・素材転換により15%削減(2013年度比) ・バイオマスプラスチック・再生材の利用率を30%向上(2013年度比)	2030年	東洋製罐グループホールディングス「東洋製罐グループ環境方針・中長期環境目標」, https://www.tskg-hd.com/csr/environment/global/global01/
	印刷	大阪シーリング印刷株式会社	シールラベル、軟包材	バイオマスプラスチック使用フィルム、バイオマス原料使用インク、バイオマス原料使用粘着剤等	現行構成品の性能を担保しつつ、バイオマスプラスチックを使用した製品を開発(現在検討中)	—	大阪シーリング印刷HP, https://www.osp.co.jp/
	繊維	大嘉産業株式会社	スポーツ用人工芝「バイオターフ」、袋型根固め工法用袋材「バイオエコサンクネット」	バイオPE(スポーツ用人工芝)、バイオPET(袋型根固め工法用袋材)	バイオマスプラスチック使用量1,100トン/年、CO2削減目標450トン/年	2025年	大嘉産業HP, http://www.daika.co.jp/
		ゲンゼ株式会社	食品包装用フィルム	植物由来原料(バイオマスプラスチック等)	製品開発を行い、化石資源の使用量削減に貢献する	—	ゲンゼHP「プラスチックカンパニーサイト」 https://www.gunze.co.jp/plastic/index.html
		百々株式会社	帽子のつば芯と帽子に関わる樹脂製付属パーツ	バイオマスプラスチック、リサイクルプラスチック等	年間100万個分の帽子のつば芯のうち50%を、バイオマスプラスチック(配合率30%)+リサイクルプラスチック(配合率70%)へ移行	2025年	百々HP, https://www.dodo-boushi.com/
	化学工業	信濃化学工業株式会社	林業資材	生分解性プラスチック	200トン	2023年度	信濃化学工業HP, https://www.shinano-kagaku.co.jp/

業種		企業名	対象製品・用途	導入する素材	目標水準	目標時期	参考URL
製造業	化学工業	住友ベークライト株式会社	医薬品包装 (PTP包装)	バイオPE (バイオマスプラスチック配合率 50%)	販売拡大	—	住友ベークライト「バイオマス原料使用の医薬品包装用フィルムの開発について」(2022年6月7日), https://www.sumibe.co.jp/topics/2022/film-sheets/0601_01/index.html
			食品包装用多層フィルム	バイオPE (バイオマスプラスチック配合率 約40%)	適用品番拡大 (4558L、9238A、9538A等)	—	住友ベークライト「バイオマス原料使用の食品包装用フィルムの開発について」(2022年3月4日), https://www.sumibe.co.jp/topics/2022/film-sheets/0302_01/index.html
		VASUジャパン株式会社	歯ブラシ、食品トレー、買物袋 (レジ袋) 等	バイオマスプラスチック	500トン/年	2024年	VASUジャパンHP, www.vasu.tokyo
			園芸用品、ごみ袋等	生分解性プラスチック	200トン/年		
飲食サービス業	飲食サービス業	株式会社すかいらーくホールディングス	持ち帰り・宅配用包材、ストロー、買物袋 (レジ袋)、その他消耗品関連等	バイオマスプラスチック等	使い捨てプラスチックにおける化石資源由来素材比率を50%にする 使い捨てプラスチックにおける化石資源由来素材比率をゼロにする	2026年 2030年	すかいらーくホールディングス「脱プラスチック」, https://corp.skylark.co.jp/sustainability/environment/waste_reduction/
		株式会社モスフードサービス	「モスバーガー」で使用するテイクアウト用品等	バイオマスプラスチック全般	バイオマスプラスチックを含む環境配慮型素材の導入率70%	2030年	モスフードサービスHP, https://www.mos.co.jp/company/
		イオン株式会社	プライベートブランド「トップバリュ」商品	環境・社会に配慮した素材 (バイオマスプラスチック等の植物由来素材を含む)	すべての「トップバリュ」商品に導入	2030年	イオンHP「イオン プラスチック利用方針」, https://www.aeon.info/sustainability/plastic/ トップバリュ「環境配慮容器包装の取り組み」, https://www.topvalu.net/brand/kodawari/cs/environment/
卸売業・小売業	卸売業	株式会社セブン&アイ・ホールディングス	オリジナル商品 (セブンプレミアムを含む) で使用する容器	環境配慮型素材 (バイオマス・生分解性・リサイクル素材・紙、等)	50%使用 (重量ベース) 100%使用 (重量ベース)	2030年 2050年	セブン&アイグループ環境宣言「GREEN CHALLENGE 2050」, https://www.7andi.com/sustainability/policy/environment_03.html
		泉株式会社	広告用印刷用生地「ビオメディア®」	バイオPET	バイオマスプラスチック配合率20%	2027年	エコマーク「ビオメディア®」, https://www.ecomark.jp/search/pdf/index.php?id=18436
		株式会社紅屋	寝装品関係 (敷ふとんの中材、敷パット、枕の中材)	バイオPE	バイオマスプラスチック配合率30~50%	未定	紅屋HP, http://www.kyoto-beniya.co.jp/
		株式会社フカサワ	自動包装機用フィルム、包装資材類	バイオPE、再生プラスチック等類	バイオマスプラスチック、生分解プラスチックを含む環境配慮型商品の販売金額: 全社売上の30%	2030年	フカサワHP, https://www.fk-net.co.jp/ 包装・梱包ライン 自動化.com (株式会社フカサワ), https://www.fk-materialhandling.com/
		日本生活協同組合連合会	当会プライベートブランド商品 (CO・OP商品) に使用するプラスチック製容器包装	再生プラスチック及び植物由来素材プラスチック (バイオマスプラスチック)	再生プラスチックと植物由来素材プラスチックの活用を進め、合計で50%以上使用	2030年	日本生活協同組合連合会 ニュースリリース「日本生協連「生協の2030環境・サステナビリティ政策」策定に合わせ「コープ商品の2030年目標」を設定～人や環境に配慮した「コープ商品『責任ある調達基本方針』」を公開～」(2021年5月19日), https://jccu.coop/info/newsrelease/2021/20210519_02.html

②バイオプラスチック（素材）製造・販売目標

業種	企業名	製造または販売する素材	利用可能な製品・用途	目標水準	目標時期	参考URL
製造業	化学工業	伊藤製油株式会社	ヒマシ油由来原料（バイオPUフォーム等の中間原料） ※ヒマシ油由来原料は、その他にも以下のような用途に利用される 塗料、インキ、接着剤、封止材、切削加工油剤、化粧品	バイオPUフォームの用途例：寝具、家具、緩衝材等	従来化石資源由来製品を使用してきた分野に対しての新規採用	— 伊藤製油HP, https://www.itoh-oilchem.co.jp/
		株式会社カネカ	「カネカ生分解性バイオポリマー Green Planet [®] 」（PHBH）	プラスチック製容器包装・製品（食品容器・包装、ストロー、カトラリー、ショッピングバッグ、ごみ袋、ホテルアメニティー）	製造能力：10～20万トン/年	2030年 カネカHP「生分解性バイオポリマー」, https://www.kaneka.co.jp/business/material/ibd_001.html
		株式会社クラレ	バイオマス由来原料を用いた水素添加スチレン系熱可塑性エラストマー	日用品、靴等 ※ゴム改質剤・粘接着剤としても利用可能	200トン/年	2026年 クラレHP「セプトンBIO-シリーズ」, https://www.elastomer.kuraray.com/ja/septon/specialproductlines/new-styrenic-elastomer-jp/
			変性デンプンを主原料とするガスバリア材「PLANTIC TM 」	ガス置換包装用食品トレー	初年度30トン/年（多層積層シート内の「PLANTIC TM 」層部分の重量） ※PET/PLANTIC TM /PET構成の多層ガスバリアシートとして販売	2023年 クラレHP「PLANTIC」, https://www.kuraray.co.jp/products/plantic
					200トン/年	2026年
		株式会社ネクアス	生分解性ペレット「NEQAS OCEAN」	生分解性バイオマス樹脂プロダクト：シート成形品、真空成形品、射出成形品、3Dプリンタ成形品	バイオマスプラスチック配合率36～51%	2023年4月 ネクアスHP, https://neqas.co.jp/
		株式会社ベルポリエステルプロダクツ	バイオ共重合PET「バイオベルペット [®] 」	化粧品容器、医療用容器、家電部材、食品容器包装等	1,000トン/年以上	2025年 ベルポリエステルプロダクツHP, http://www.bellpet.co.jp
		神戸精化株式会社	PLA	食品容器包装、緩衝材、使い捨てカトラリー等	10,000トン/年の販売	2030年 神戸精化「ポリ乳酸（PLA）販売事業」, https://kobeseika.co.jp/business-pla.html
		阪本薬品工業株式会社	グリセリン、ポリグリセリン誘導体（ウレタン、アクリレート等の原料）	建材、電材、フィルム、インキ等	商用化	2023年 阪本薬品工業「製品一覧」, https://www.sy-kogyo.co.jp/division/functional/product/#product-functional-4
		住友ベークライト株式会社	工業用フェノール樹脂、フェノール樹脂成形材料、エポキシ樹脂材料	工業用フェノール樹脂：レジスト、建材、各種自動車用耐熱部品 フェノール樹脂成形材料：各種自動車用構造部品、電機・電子用部品 エポキシ樹脂材料：絶縁封止用途、回路基板	バイオマスプラスチック配合率100%（製造または販売する素材において）	2035年 住友ベークライト 高機能プラスチック製品事業本部HP, https://www.sumibe.co.jp/product/hpp/index.html
		積水化成成品工業株式会社	製造するすべての素材 ※熱可塑性エラストマービーズ発泡体「ELASTIL BIO」、生分解性微粒子「テクポリマーBIO」、無架橋高発泡ポリエチレンシート「ライトロンBIO」、高耐熱軽量発泡体「St-Eleveat BIO」、生分解性発泡体「RETONA FOAM BIO」等は上市済	（素材によって異なる）	製品構成材料の50%をリサイクル材またはバイオマスプラスチックにする	2030年度 積水化成成品工業HP「2030年に目指す事業の方向性」, https://www.sekisui-kasei.com/jp/ir/strategy/long_term/

業種		企業名	製造または販売する素材	利用可能な製品・用途	目標水準	目標時期	参考URL
製造業	化学工業	三井化学株式会社	バイオマス由来イソシアネート「スタビオ [®] 」(バイオPU原料)	バイオPUの用途：自動車用塗料、建築用塗料、接着剤、成形材料等	1,000トン/年の販売	2025年	三井化学HP「スタビオ [®] 」, https://jp.mitsuichemicals.com/jp/service/product/stabio.htm
		三菱ケミカル株式会社	「GOHSENOL TM (ゴーセノール TM)」、「GOHSENX TM (ゴーセネックス TM)」、「Nichigo G-Polymer TM (ニチゴーGポリマー TM)」 ※生分解性プラスチック(PVA)	フィルム、繊維、水溶性成形物、中子・外子、食品容器包材	製造能力：10,000トン/年	2030年	三菱ケミカルHP「ゴーセノール TM 、ゴーセネックス TM 」, https://www.gohsenol.com/doc/outl/outl_01.shtml 三菱ケミカルHP「ニチゴーGポリマー TM 」, https://www.g-polymer.com/jpn/
			「DURABIO TM 」 ※バイオマス由来のエンジニアリングプラスチック	自動車部材、光学フィルム、化粧品容器、文房具など	製造能力：数万トン/年 環境配慮型エンブラとして拡販	2030年	三菱ケミカルHP「新規バイオエンブラDURABIO TM 」 https://www.m-chemical.co.jp/products/departments/mcc/pc/product/1200363_9344.html
			「BioPBS TM 」, 「FORZEAS TM (フォゼアス TM)」 (「FORZEAS TM 」は「BioPBS TM 」をベースにした生分解性樹脂コンパウンド) ※バイオマス由来かつ生分解性のプラスチック	食品包材、紙コップ、ストロー、カトラリー、コーヒーカプセル、農業用マルチフィルム、育苗ポット、幼木保護シート、生ごみ袋、ショッピングバッグ、買物袋(レジ袋)、不織布、法面養生材料、漁具	製造能力：数万トン/年	2030年	三菱ケミカルHP「BioPBS TM (バイオPBS)」 https://www.m-chemical.co.jp/products/departments/mcc/sustainable/product/1200364_7166.html
			「ソアノール」(EVOH)	主に食品容器包装	バイオマス化の検討を進めていく	—	三菱ケミカル ソアノールHP, http://www.soarnol.com/jpn/
			バイオベースエポキシ樹脂	エポキシ樹脂用途全般： ・塗料：飲料缶、自動車、防食塗料 ・半導体 ・エレクトロニクス：封止材(固形・液状)、基板材料 ・コンポジット材料：CFRP(炭素繊維強化プラスチック)、GFRP(ガラス繊維強化プラスチック) ・土木・建築材料：床・ライニング、レジンモルタル、補修材 ・接着剤：構造用接着剤(自動車・航空機)、電子部品用接着剤	上市	2025年	三菱ケミカル エポキシ事業部HP, http://www.mcc-epoxy.jp/index.html 三菱ケミカル「バイオベースエポキシ」, https://www.m-chemical.co.jp/products/departments/mcc/cmd/expo/mcc_sasma2022.pdf
			リグニン変性フェノール樹脂	合板、パーティクルボード、MDF(中密度繊維板)	バイオマス配合率50%以上	2030年	環境省「令和3年度脱炭素社会を支えるプラスチック等資源循環システム構築実証事業の公募採択事業について」, https://www.env.go.jp/press/110150.html

業種		企業名	製造または販売する素材	利用可能な製品・用途	目標水準	目標時期	参考URL
製造業	化学工業	三菱ケミカル株式会社	バイオポリカーボネートジオール「BENEbIOL™」（PU樹脂、アクリル系樹脂、ポリエステル系樹脂等の中間原料）※上市済	バイオPUの用途：人工皮革、合成皮革、塗料、接着剤、エラストマー等	製造量：数千トン/年	2030年	三菱ケミカルHP「BENEbIOL™ベネビオール（PCD）」 https://www.m-chemical.co.jp/products/departments/mcc/basicmat/product/1200297_9338.html
			バイオポリテトラメチレンエーテルグリコール（バイオPTMG）（バイオPU、ポリエステルエラストマーの中間原料）	バイオPU用途：TPU（熱可塑性ポリウレタン）、繊維、産業資材等	製造量：数千トン/年	2030年	三菱ケミカルHP「ポリテトラメチレンエーテルグリコール/PTMG」, https://www.m-chemical.co.jp/products/departments/mcc/c4/product/1211476_7124.html
			メタクリル酸メチル（MMA）（アクリル樹脂の中間原料）	アクリル樹脂の用途：自動車のランブカバー、看板、水族館の水槽、塗料、建材等	バイオマス原料を導入したMMAの上市	2026年	三菱ケミカルHP「植物由来原料を使用したMMAモノマーのバイロットプラント設計開始～サステイナブルMMAの本格展開に向け大きく前進～」, https://www.m-chemical.co.jp/news/2022/1213323_9302.html
	繊維	帝人フロンティア株式会社	バイオPTT繊維、バイオPET繊維、バイオナイロン繊維等	衣料用途・各種産業資材用途等向けの繊維製品	植物由来原料を使用した商品：売上高の10%	2030年度	帝人フロンティア「環境戦略と3つの重点目標」, https://www2.teijin-frontier.com/sustainability/about_thinkeco/
		東洋紡株式会社	バイオPET、バイオPE、バイオPA、PEF等	食品・一般包装用フィルム、光学用フィルム、工業用工程フィルム	グリーン化率（バイオマス化、リサイクル化など）60%以上	2030年	東洋紡サステナブル・ビジョン2030, https://www.toyobo.co.jp/sustainability/pdf/sustainable_vision2030.pdf
			バイオPA	成形材料用コンパウンド	成形材料用コンパウンド向けにバイオPAを3,000トン/年まで増やす	2027年	
			バイオPET、バイオPE、バイオPP、バイオPA、PEF等	容器包装（食品用、一般用）	パッケージ用素材は全量、リニューアブルなものに置換予定（バイオマスプラスチック、リサイクル材料等） ※現在1,000トン/年程度の販売量	2050年	東洋紡HP「パッケージ事業統括部」, https://www.toyobo.co.jp/seihin/film/package/
		東レ株式会社	100%バイオポリエステル繊維	自動車内装材、スポーツ衣料、ユニフォーム等	10,000トン/年	2020年代	東レ「明日につながる繊維－石油ではなくサトウキビから環境に優しいポリエステルを」, https://www.toray.co.jp/sustainability/articles/vol02.html 東レ「環境への配慮」, https://www.uniform.toray/environment/
			100%植物由来ナイロン繊維「エコディア®N510」	アウトドア用途（アウター）、インナーレース、資材他	テキスタイル：60万m/年 ファイバー：3トン/月	2023年度	東レニュースリリース「植物から生まれた新たなナイロン繊維の開発、販売開始～100%植物由来のナイロン繊維「エコディア®N510」～」(2022年1月14日), https://www.toray.co.jp/news/details/20220113102107.html
	紙・パルプ	王子ホールディングス株式会社	木質由来PLA	フィルム、不織布、容器、繊維など、既存のPLAを利用している用途	ブレ商業段階の実用化（1,000トン以上/年）	2026年度以降	王子ホールディングス「地球に優しい、環境配慮型製品」, https://www.ojiholdings.co.jp/r_d/theme/eco-friendly_material.html

業種		企業名	製造または販売する素材	利用可能な製品・用途	目標水準	目標時期	参考URL
卸売業、 小売業	卸売業	豊田通商株式会社	バイオPE（輸入）	食品容器包装、買物袋（レジ袋）、ごみ袋、日常生活用品、玩具等	日本向け輸入数量増加 ※日本向けの数量増及び生産能力 増強・増設を製造メーカーと協議 中	2023年度	豊田通商HP, https://www.toyota-tsusho.com/

※ 本目標集は、バイオプラスチック導入ロードマップの方針に基づき、企業のバイオプラスチック導入に関する目標を掲載している。

用語集：	バイオPA	原料として植物などの再生可能な有機資源を使用するポリアミドの略称。
	バイオPE	原料として植物などの再生可能な有機資源を使用するポリエチレンの略称。
	バイオPET	原料として植物などの再生可能な有機資源を使用するポリエチレンテレフタレート（PET）の略称。一部企業では、「植物由来PET」と表現されている。
	バイオPP	原料として植物などの再生可能な有機資源を使用するポリプロピレンの略称。
	バイオPU	原料として植物などの再生可能な有機資源を使用するポリウレタンの略称。
	EVOH	エチレンビニルアルコール共重合体の略称。
	HIPS	耐衝撃性ポリスチレンの略称。
	PA	ポリアミド（別名ナイロン）の略称。
	PBS	ポリブチレンサクシネートの略称。
	PE	ポリエチレンの略称。
	PEF	ポリエチレンフタレート（PET）の略称。
	PET	ポリエチレンテレフタレートの略称。
	PHBH	ポリ（3-ヒドロキシブチレート-3-ヒドロキシヘキサノエート）の略称。
	PLA	ポリ乳酸の略称。
	PP	ポリプロピレンの略称。
	PS	ポリスチレンの略称。
	PTT	ポリトリメチレンテレフタラートの略称。
	PU	ポリウレタンの略称。
	PVA	ポリビニルアルコールの略称。